

# 令和元年度宮城県ストップ温暖化賞

## 栗原市築館生活学校

地球にやさしい暮らしのすすめ（ごみ減量とリサイクル）

- 住みよい町、美しい町づくりを目指し、1988年ころから町内の環境美化に取り組みはじめ、リサイクルなどによる地域でのごみの減量化の取組を現在まで継続して行っている。
- 循環型社会の実現に向け、廃油を利用したリサイクル石けんや、生ごみから作ったリサイクル堆肥によるごみの減量化、古紙100%紙ひもの使用、マイバッグの利用によるレジ袋の削減などに取り組み、地球温暖化対策に貢献している。

### 団体概要

- 団体名 栗原市築館生活学校
- 設 立 1982年
- 会員数 32（2019年5月現在）

### 生活学校とは

生活学校は、女性を中心に、身近な地域や暮らしの問題を、学び、調べ、話し合い、企業や行政と話し合い、他のグループとも協力し合いながら、実践活動の中で解決し、生活や地域や社会のあり方を変えて行く活動に取り組むグループです。



### 栗原市築館生活学校のこれまでの活動概要

年度	活動テーマ等	活動内容
1982（昭和57）年～開校	「お返しなし運動」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 町民へのアンケート調査を実施する。ポスター・チラシを作成し、町内全戸に配布、お返しなし運動をスタートさせる。</li><li>・ 公民館分館長会議の協力をもらい、町内全域での本運動の推進を図る。</li></ul>
1988（昭和63）年～	まちをきれいにする運動（ごみの減量・分別）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ごみ集積所の実態調査を行い、町や衛生組合等との話し合いを重ねる。当時はダンボールやレジ袋で出していたごみを、町や広域行政組合に働きかけ現在のごみ袋を使う方法になったほか、ごみ集積所整備の補助金制度のきっかけとなった。</li><li>・ 生ごみリサイクル用ボカシの作成（販売）と普及に取り組み、コンポストの助成制度へと結びついた。</li><li>・ 牛乳パックの回収運動</li><li>・ リサイクルバザーや、春・秋互市でのフリーマーケット出展</li><li>・ リフォーム活動</li><li>・ マイバッグ持参運動</li><li>・ 再生紙利用促進（再生紙（トイレットペーパー）販売店調査及び消費者へのアンケート調査）</li><li>・ 古紙紙紐の使用促進（古新聞・雑誌・ダンボールの廃棄時にビニール紐を使わないようにする）等</li></ul>
	「生活学校だより」の発行	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 開校当初から、年2回発行。生活学校の活動を理解してもらうため、築館全戸に配布している。現在64号を数える。</li></ul>